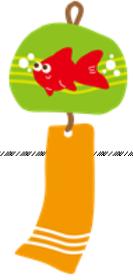


# ひきじだい

令和7（2025）年6月30日

文月（7月）号



## つきひ 「月日を感じて」

新潟県への出張で、35年ぶりに大学時代の友人と会うことができました。上越市の小学校に勤めていることは知っていたので、研究会の参加者名簿で名前を探したところ、載っていました。800人くらいの参加者がいましたが、何とか見つけ出し、お互いに、「全然変わってない」と言い合い（そんな訳ない！と、周りの人から言われそうですが…）、再会を喜び合うことができ、大変嬉しかったです。

せっかくの新潟県。佐渡へも行きたかったのですが、ジェット船でも片道1時間と聞き、今回は諦め、いつか友人とゆっくり会うことも含め、もう一度訪れたいと思いました。

7月の“〇〇の日”を検索してみると、1日～31日まで、それはもう様々な〇〇の日が設定されていて、なかなか興味深いです。

中でも、7月2日の「1年の折り返しの日・真ん中の日」が目に残りました。誰が決めたかは分からないそうですが、お正月から数えて183日目にあたるそうです。季節は冬から夏に移り変わっていますね。7月2日に、「1年の半分が終わってしまった」・「まだ半分ある」のどちらの気持ちになるのか？目標の達成度によるのでしょうか。

ある方が、1ヶ月に1回くらい、鏡に自分の姿を映して「自分はどんな人間か」を問いかけ、振り返ると良いとお話しされていました。

（自分は今幸せか？誰かの、何かの役に立っているだろうか？）

1年の折り返しの日には実行するのがぴったりだと思い、あさって、やってみようと思います。

校長